

記念物の根上り松の横にありました。運動靴も殆ど手に入らず、寒暑の中裸足の練習が行われました。

PTA 活動の始まりについては、昭和 23 年 4 月 10 日那賀郡桑野町桑野小学校において、徳島県駐留米
国陸軍中佐カートン氏を招き、郡内各学校が集まり PTA 説明講習会が開かれました。会場は参加者であ
ふれんばかり、午前 10 時定刻に開会、軍服姿のカートン中佐が明朗な口調で、分かり易く説明されました。
PTA の「P」・「T」共に権利と義務、友愛が含まれています。初めて聞く説明、参会者一同 PTA への認識
を深め、感謝と感激で終わりました。喜びと明日への思いを胸に、友と別れ自転車で家路につきました。

「踏みこんだ 学びの園や 菊薫る」 白洋 86 歳

(執筆：第 2 代体育後援会 会長 富永 武則氏)

(5) 村瀬慶子さん「女子円盤投げ日本中学新記録樹立」

昭和 29 年度、村瀬慶さんが本校に入学。バレーボール部に所属していたが、当時の第 4 代校長岡田
國一氏は、彼女の恵まれた体格に注目し、徳島商業高校に勤務していた湯浅藤吉先生の指導を得、陸上競
技の練習を勧めることになった。そして、村瀬慶さんは、円盤投げに向いているということで、バレー
ボールの練習と並行して、円盤投げの練習を日々行ったようだ。

昭和 31 年 10 月 7 日、当時の西の丸競技場で行われた県都市対抗陸上競技大会 女子円盤投げで、中学
3 年生になった村瀬さんは、日本中学校新記録 (30 メートル 62) を見事に樹立した。その大会後も、中
学校放送陸上競技大会に出場し、活躍した。

富岡東高校に進学後、西改 昇先生の指導で、38 メートル 20 の高校日本第 2 位 (全日本第 10 位) の
記録を樹立。昭和 33 年 6 月、日本・インド・セイロン (スリランカ) の国際親善陸上競技大会において、
女子砲丸投げで、インドのダベンポート選手を押さえ、見事優勝。昭和 35 年 10 月、熊本国体で、女子
砲丸投げ第 2 位 (12 メートル 28) に輝くなどの活躍をしている。



*熊本国体 (昭和 35 年 10 月) での女子
砲丸投げで、第 2 位となった本県の村瀬慶
子選手 (富岡東一日大) の力強いフォーム。
12 メートル 28 を記録した。

*村瀬、国際大会で初陣飾る昭和 33 年
6 月、日本・インド・セイロン (スリラ
ンカ) の国際親善陸上競技大会が西の丸
競技場で開かれた。女子砲丸投げの村瀬
慶子 (富岡東高) が初出場ながらインド
のダベンポートを押さえ、優勝。前川徳
島新聞社会長から表彰された。

